

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第2区分  
 【発行日】令和6年3月27日(2024.3.27)

【国際公開番号】WO2021/206165  
 【出願番号】特願2022-514132(P2022-514132)

【国際特許分類】

A 0 1 N 25/00(2006.01)  
 A 0 1 N 51/00(2006.01)  
 A 0 1 N 47/34(2006.01)  
 A 0 1 N 47/44(2006.01)  
 A 0 1 N 43/56(2006.01)  
 A 0 1 P 7/04(2006.01)  
 A 0 1 P 3/00(2006.01)

10

【F I】

A 0 1 N 25/00 1 0 1  
 A 0 1 N 51/00  
 A 0 1 N 47/34 Z  
 A 0 1 N 47/44  
 A 0 1 N 43/56 D  
 A 0 1 P 7/04  
 A 0 1 P 3/00

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年3月14日(2024.3.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) 下記化合物(A1)～(A6)から選ばれる少なくとも1種の化合物〔以下、(A)成分という〕からなる植物処理剤用蒸発抑制剤と植物処理剤とを含有する処理液を、植物に施す工程を含む、植物の処理方法であって、前記処理液を、産業用無人ヘリコプター、及び産業用マルチローターから選ばれる散布装置を用いて、空中散布して植物に施す、植物の処理方法。

<化合物(A1)>

下記式(I)の化合物に、エチレンオキサイド(以下EOという)及びプロピレンオキサイド(以下POという)から選ばれる少なくとも1種のアルキレンオキサイド(以下AOという)が平均付加モル数1以上2.2以下で付加した化合物

40



〔式(I)において、R<sup>1</sup>は炭素数10以上14以下のアルキル基又は炭素数10以上14以下のアルケニル基である。〕

<化合物(A2)>

下記式(II)の化合物に、EO及びPOから選ばれる少なくとも1種のAOが平均付加モル数1以上2.2以下で付加した化合物



〔式(II)において、R<sup>2</sup>は炭素数11以上19以下のアルキル基又は炭素数11以上1

50

9以下のアルケニル基である。]

<化合物(A3)>

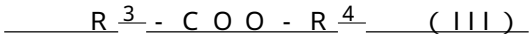
炭素数10以上20以下の脂肪酸とソルビタンのモノエステルに、EO及びPOから選ばれる少なくとも1種のAOが平均付加モル数1以上2.2以下で付加した化合物

<化合物(A4)>

重量平均分子量1000以上3000以下のポリアルキレングリコール

<化合物(A5)>

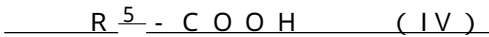
下記式(III)で表される化合物



[式(III)において、R<sup>3</sup>は炭素数15以上19以下のアルキル基、R<sup>4</sup>は炭素数1以上1.8以下のアルキル基である。]

<化合物(A6)>

下記式(IV)で表される化合物



[式(IV)において、R<sup>5</sup>は炭素数7以上19以下のアルキル基又は炭素数7以上1.9以下のアルケニル基である。]

【請求項2】

植物処理剤が、農薬、肥料及び防腐剤から選ばれる成分である、請求項1に記載の植物の処理方法。

【請求項3】

農薬が、殺菌剤、殺虫剤、殺ダニ剤、除草剤及び植物成長調節剤から選ばれる少なくとも1種である、請求項2に記載植物の処理方法。

【請求項4】

前記処理液が、前記植物処理剤用蒸発抑制剤を30mg/kg以上6000mg/kg以下含有する、請求項1から3のいずれかに記載の植物の処理方法。

【請求項5】

前記処理液を、10aあたり0.1L以上500L以下の割合で散布する、請求項1から4のいずれかに記載の植物の処理方法。

【請求項6】

前記処理液を、植物の水に対する接触角が50°以上180°以下である部分に接触させる、請求項1から5のいずれかに記載の植物の処理方法。

【請求項7】

植物が農作物であり、前記処理液を農作物の収穫前に施す、請求項1から6のいずれかに記載の植物の処理方法。

【請求項8】

前記処理液が、(B)(A)成分以外の農薬用効力増強剤〔以下、(B)成分という〕を含有する、請求項1から7のいずれかに記載の植物の処理方法。

【請求項9】

前記処理液が、(B)成分として、(B1)(A)成分以外の乳化剤及び(B2)(ポリ)グリセリン脂肪酸エステルから選ばれる1種以上を含有する、請求項8に記載の植物の処理方法。

【請求項10】

(A)下記化合物(A1)～(A6)から選ばれる少なくとも1種の化合物〔以下、(A)成分という〕からなる植物処理剤用蒸発抑制剤と、(B)(A)成分以外の農薬用効力増強剤〔以下、(B)成分という〕とを含有する、農薬用効力増強剤組成物。

<化合物(A1)>

下記式(I)の化合物に、エチレンオキサイド(以下EOという)及びプロピレンオキサイド(以下POという)から選ばれる少なくとも1種のアルキレンオキサイド(以下AOという)が平均付加モル数1以上2.2以下で付加した化合物



10

20

30

40

50

〔式 (I) において、 $R^1$  は炭素数 10 以上 14 以下のアルキル基又は炭素数 10 以上 14 以下のアルケニル基である。〕

< 化合物 (A2) >

下記式 (II) の化合物に、EO 及び PO から選ばれる少なくとも 1 種の AO が平均付加モル数 1 以上 2.2 以下で付加した化合物



〔式 (II) において、 $R^2$  は炭素数 11 以上 19 以下のアルキル基又は炭素数 11 以上 19 以下のアルケニル基である。〕

< 化合物 (A3) >

炭素数 10 以上 20 以下の脂肪酸とソルビタンのモノエステルに、EO 及び PO から選ばれる少なくとも 1 種の AO が平均付加モル数 1 以上 2.2 以下で付加した化合物 10

< 化合物 (A4) >

重量平均分子量 1000 以上 3000 以下のポリアルキレングリコール

< 化合物 (A5) >

下記式 (III) で表される化合物



〔式 (III) において、 $R^3$  は炭素数 15 以上 19 以下のアルキル基、 $R^4$  は炭素数 1 以上 18 以下のアルキル基である。〕

< 化合物 (A6) >

下記式 (IV) で表される化合物 20



〔式 (IV) において、 $R^5$  は炭素数 7 以上 19 以下のアルキル基又は炭素数 7 以上 19 以下のアルケニル基である。〕

【請求項 11】

(B) 成分として、(B2) (ポリ) グリセリン脂肪酸エステル〔以下、(B2) 成分という〕から選ばれる 1 種以上の農薬用効力増強剤を含有する、請求項 10 に記載の農薬用効力増強剤組成物。

【請求項 12】

(B2) 成分が、脂肪酸の炭素数が 8 以上 16 以下であり、グリセリンの平均縮合度が 1 以上 3 以下である (ポリ) グリセリン脂肪酸エステルである、請求項 11 に記載の農薬用効力増強剤組成物。 30

【請求項 13】

(B2) 成分において、脂肪酸が、カプリル酸、カプリン酸、ラウリン酸、ミリスチン酸、及びパルミチン酸から選ばれる脂肪酸である、請求項 11 又は 12 に記載の農薬用効力増強剤組成物。

【請求項 14】

(B2) 成分において、グリセリンの平均縮合度が、1 以上 3 以下である、請求項 11 から 13 のいずれかに記載の農薬用効力増強剤組成物。

【請求項 15】

(B2) 成分において、エステル結合の形態は、モノエステル体及び / 又はジエステル体である、請求項 11 から 14 のいずれかに記載の農薬用効力増強剤組成物。 40